

製品安全データシート

整理番号 HK23419

製品名 ハートジェル

物質の特定 単一製品、混合物の区分 混合物
製品の種類 害鳥防除用忌避剤

成分

水

油

ゲル化剤(カルボマー931)

添加剤(カプサイシン・メントール等)

化学式または構造式 特定できない

労働安全衛生法 名称等を表示すべき有害物

非該当

PRTR法 該当しない

(※特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律)

危険有害性の分類 分類の名称 分類基準に該当しない。
主な危険有害性は次のとおり。
危険性 消防法 非危険物
有害性 現在のところ有用なデータなし。

環境影響 現在のところ有用なデータなし。

応急措置 目に入った場合 清浄な水で充分洗浄したのち医師の手当てを受ける。
皮膚に付いた場合 水と石鹼で付着した部分を洗う。
吸入した場合 新鮮な空気の場所に移し、必要なら医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 無理に吐かせないで医師の手当てを受ける。
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

火災時の措置 消化方法 火元への燃焼源を断つ。初期の消火には下記の消化剤を用いる。
消化剤 霧状の強化液、泡、粉末または炭酸ガス消火器。消火に棒状の水を用いてはならない。

漏出時の措置 周囲の火源を取り除く。できるだけ空容器に回収し、ウエス等でぬぐい取る。
河川、下水道等に流入しないように注意する。

取り扱いおよび保管上の注意 関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。
取り扱い 目に入ると炎症を起こすことがある。取り扱う際には保護眼鏡を使用するなどして目に入らないようにする。
皮膚に触れると炎症を起こすことがある。取り扱う際は保護手袋を使用するなどして皮膚に触れないようにする。
食べられません。食べないでください。

| | | |
|-----------------|--------------|--|
| | | <p>容器を開けるときに手を切る恐れがある。保護手袋を使用するなどして手を切らないようにする。</p> <p>炎、火花または高温体との接触を避け、静電気対策を行う。</p> <p>常温で取り扱うものとし、その際水分、きょう雑物等の混入に注意する。</p> |
| | 保 管 | <p>ごみ、水分などの混入防止のため使用後は密栓しておく。</p> <p>直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて暗所に保管する。</p> |
| 暴露防止措置 | 管理濃度 | (作業環境基準：労働省告示第26号 平成7年3月27日) 規定なし |
| | 許容濃度 | <p>日本産業衛生学会 (2000年度版) 3 mg/m³ (鉱油ミストとして)</p> <p>ACGIH (1997年度版) TWA 5 mg/m³ (オイルミスト (精製鉱物油) として)</p> |
| | 設備対策 | ミストが発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。 |
| | 保護具 | <p>呼吸用保護具 必要に応じて防毒マスク (有機ガス用) を着用する。</p> <p>保護眼鏡 飛沫が飛ぶ場合にはゴーグル型眼鏡を着用する。</p> <p>保護手袋 長時間、または繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。</p> <p>保護衣 長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。</p> |
| 物理/化学的性質 | 外観 | 淡黄色半固体 |
| | 揮発性 | なし |
| | 密度 | 0.95 g/cm ³ (15°C) |
| | 溶解性 | 不溶 (水に対して) |
| | 滴点 | 200°C以上 |
| 危険性情報 | 引火点 | 215°C (SETA) |
| | 発火点 | 現在データなし。 |
| | 爆発限界 | <p>基油の爆発限界は次のように推定される。</p> <p>上限7% 下限1%</p> |
| | 燃焼性 | あり |
| | 安定性 | 安定 |
| | 反応性 | 強酸化剤との接触を避ける。 |
| 有害性情報 | 眼刺激性 | 刺激性のある恐れがある。 |
| | 皮膚刺激性 | 長期、または繰り返し接触すると刺激性のある恐れがある。 |
| | 急性毒性 | LD：経口5g/kg以上 (ラット・推定値) |
| | 癌源性 | 基油はIARCグループ3に分類されている。 |
| 環境影響情報 | 分解性 | 現在のところ有用なデータなし。 |
| | 蓄積性 | 現在のところ有用なデータなし。 |
| | 魚毒性 | 現在のところ有用なデータなし。 |
| 廃棄上の注意 | | <p>「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い適正に処理する。</p> <p>産業廃棄物は事業者が自ら処理するが、または知事の許可を受けた産業廃棄物処理する。</p> <p>廃容器の取り扱い、空容器に圧力を加えると破裂することがある。</p> |
| 輸送上の注意 | | 輸送時には「取り扱いおよび保管上の注意」の頃に記載した内容に留意するほか、容器に漏洩、損傷のないことを確かめ、荷くずれを起こさないように確実に |

